

都市と防災Ⅰ

科目ナンバリング POL-305
選択 2単位

関 英男

1. 授業の概要(ねらい)

災害対応では、不特定多数を迅速かつ確実に動かすための規制・助成といったコントロール手法が決定的に重要になります。そのため、人権侵害や優先順位などが問題になります。この講義では、行政がどう規制し、どう助成し、どう調整したかに焦点を当てます。ここでは災害時の対応を取り上げ、大都市における最近の事例と被害予想、災害対応の歴史と現状を対象とします。

2. 授業の到達目標

防災行政の基礎知識と勘所を身につける。そのために、映像も含めて、さまざまな情報を提供します。

3. 成績評価の方法および基準

特定の問題に絞った最低1200字(そのうち自分の意見が600字以上)の課題提出1回が必須。ゼミの発表のように書くこと。出席は毎回取る。筆記試験は行わない。

4. 教科書・参考文献

教科書

使用しない。

参考文献

『防災白書』のサイトを初め、内閣府防災、総務省消防庁、自治体などの防災のサイト。新聞社や、過去の震災などのデータベースサイト。

5. 準備学修の内容

行政学、地方自治の知識があれば、より理解しやすくなります。

6. その他履修上の注意事項

防災関連のサイト・記事を、頻繁に見て考えてください。情報量については、相談します。

7. 授業内容

- 【第1回】 防災と国民保護(有事対応)の違い
- 【第2回】 首都圏大震災の被害予想
- 【第3回】 首都圏大水害の被害予想
- 【第4回】 水害の避難情報
- 【第5回】 富士山大噴火の被害予想
- 【第6回】 熊本地震の対応1
- 【第7回】 熊本地震の対応2
- 【第8回】 熊本地震の対応3
- 【第9回】 阪神淡路大震災の対応
- 【第10回】 東日本大震災の対応1
- 【第11回】 東日本大震災の対応2
- 【第12回】 東日本大震災の対応3
- 【第13回】 東日本大震災の対応4
- 【第14回】 伊勢湾台風とハリケーン・カトリーナ
- 【第15回】 アメリカの防災体制